CITIZEN

順番待ちクラウド整理券システム
MODEL CQ-S257DSL

デジタルサイネージ対応モデル

セットアップマニュアル

応用編

MANUAL SETUP CQ-S257DS(L) 2
2026 年 10 月 16 日
＊ＰＸＺ００２８０－００＊

シチズン・システムズ株式会社

ご注意

- ご使用前に必ず本書をお読みください。読み終わった後は、大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植などに関わらず、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外の別売品や消耗品を使用した場合の結果として発生したトラブルにつきまして、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理は行わないでください。
- お客様の誤った操作取り扱い、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害、および損失利益などについては、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容について記載漏れや誤り、不明点などがございましたらお買い求めの販売店へご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Android™は Google LLC の登録商標です。
- CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。
- その他すべての商標は各所有者の財産です。
- シチズン・システムズではライセンスに基づき使用しています。

Copyright© シチズン・システムズ株式会社 2022 年

目次

はじめに 4

設定変更の概要 4

1. 整理券番号管理端末の設定変更 5

1.1 スマホ画面やモニター画面のタイトルと通知内容の変更 5

1.2 整理番号エリアの名称の変更 11

1.3 整理券番号管理端末およびモニターの画面配色の変更 18

1.4 整理番号のグループ分けと表示色設定 22

1.5 整理券番号管理端末の設定初期化 31

1.6 呼び出し音声の変更 35

1.7 番号の呼出し先の個数を増やす（最大 3 つまで） 39

1.8 番号管理画面に表示される番号のサイズの変更 43

1.9 モニターに表示される番号のサイズの変更 46

2. 整理券発券機の設定変更 49

2.1 発券ボタンの数やボタンのデザインの変更 49

2.2 発券画面に表示する文字の変更 56

2.3 整理券に印刷する文字の変更 60

2.4 整理券に印刷する整理番号のデザインの変更 64

2.5 整理券を二枚一組で発券する 68

2.6 58mm 幅のレシート紙を使用する 71

2.7 整理券発券機の設定初期化 75

2.8 発券ボタンに発券可能時間帯を設定する 78

2.9 発券ボタンに発券数の上限を設定する 82

2.10 発券番号の順序をランダムにする 86

はじめに

このたびは、「順番待ちクラウド整理券システム」をお買い上げいただきまことにありがとうございました。本マニュアルは「順番待ちクラウド整理券システム　セットアップマニュアル　導入編」の内容に沿っての製品のセットアップ後に、製品の画面表示内容や整理券の印刷内容などをお客様のご使用に合わせて変更していただく際にお読みいただく資料となります。

設定変更の概要

本製品には整理券発券機 CQ-S257(L)と整理券番号管理端末が含まれており、それぞれ画面表示や印刷内容などの設定変更を行うことができます。

ご注意：製品を購入された時期によっては画面のデザインが以下の説明内容と異なる場合がございます。ご了承ください。

◆整理券発券機の設定内容

整理券発券機の画面表示
整理券の印刷内容など



◆整理券番号管理端末の設定内容

整理券番号管理端末、
スマホ、モニター
の画面表示など



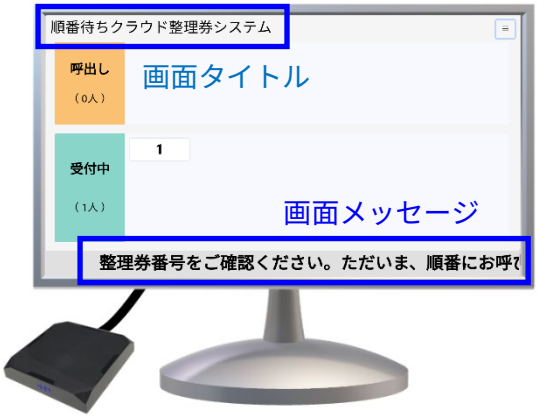
1. 整理券番号管理端末の設定変更

1.1 スマホ画面やモニター画面のタイトルと通知内容の変更

ここではスマホやモニターの画面に表示される「画面タイトル」と「画面メッセージ」の変更方法を説明します。

画面タイトル　→　お店や施設の名前など
画面メッセージ　→　来訪者に通知する情報など





補足：設定変更はすべて整理券番号管理端末で行います。

設定画面を開きます。

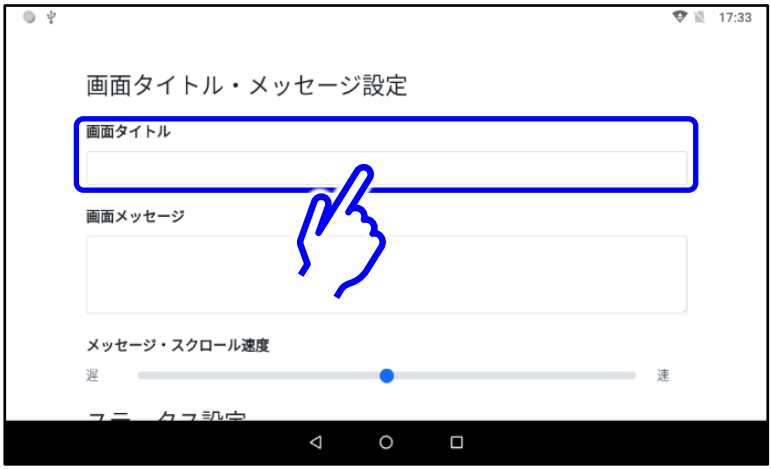
① 「＋」アイコンをタップします。



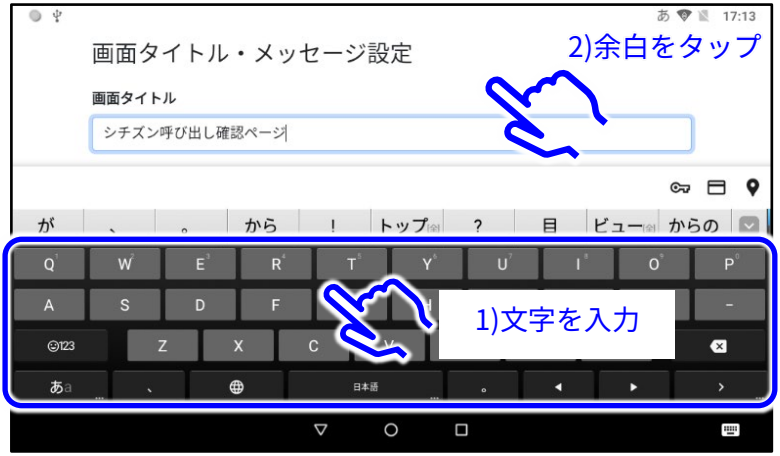
② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



画面のタイトルを変更します。
③　「画面タイトル」の入力枠をタップします。



④　ソフトキーボードを操作して入力します。※1
入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。
※2



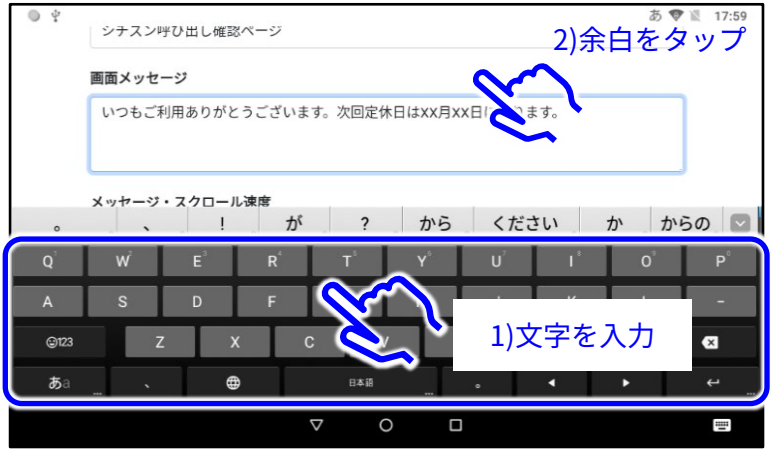
※1 以後ソフトキーボードの詳しい操作方法に関しては「順番待ちクラウド整理券システム　セットアップマニュアル　導入編」をご参照ください。
※2 入力後に余白をタップしないと入力が完了しません。

次に通知内容を変更します。

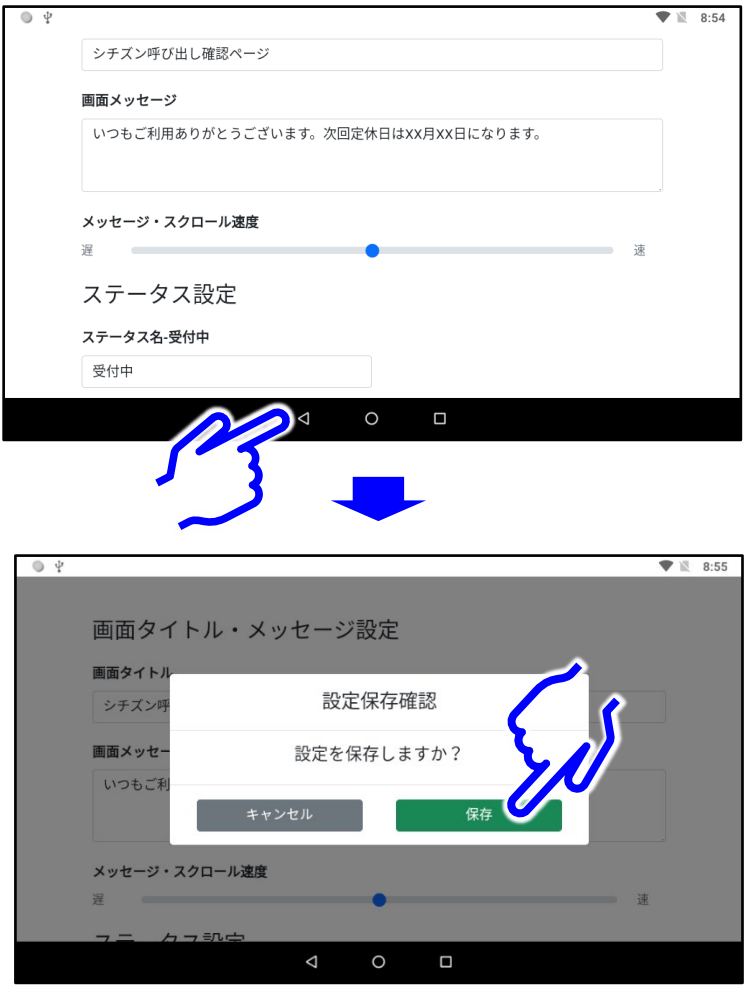
⑤ 「画面メッセージ」の入力枠をタップします。



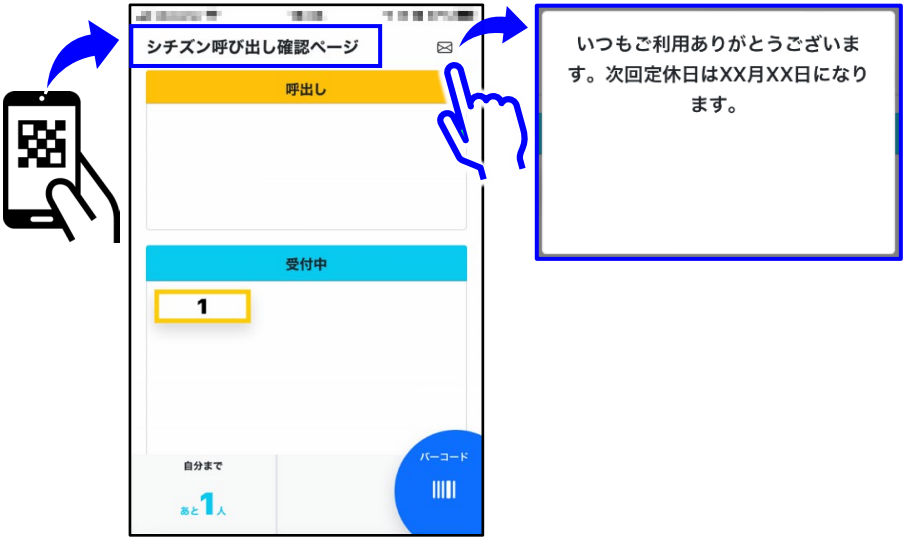
⑥ ソフトキーボードを操作して入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。

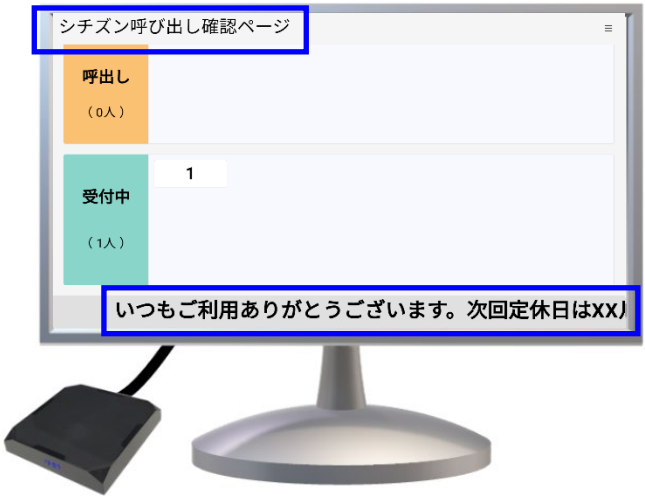


⑦ バックボタンをタップしてから「保存」をタップします。



⑧ スマホとモニターの画面に変更内容が反映されていることを確認します。





1.2 整理番号エリアの名称の変更

ここでは、整理番号表示エリアの表示名（ステータス名）の変更方法を説明します。設定した名称は管理端末・スマホ・モニターに共通で表示されます。

① 「＋」アイコンをタップします。



管理端末画面



呼出し確認画面（スマホ等）

呼出し表示画面（モニター）

※1「処理済」管理端末画面にのみ表示されます。

② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして「ステータス設定」を表示します。



④ 「ステータス名-受付中」の入力枠をタップします。



⑤ ソフトキーボードを操作して所望の文字を入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。



⑥ 「ステータス名-呼出し」の入力枠をタップします。※1



⑦ キーボードを操作して所望の文字を入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。



※1 この操作を行わなくても⑦の画面が表示される場合があります。
※2 入力枠がソフトキーボードで隠れてしまう場合は、余白を上方向にスライドしてください。

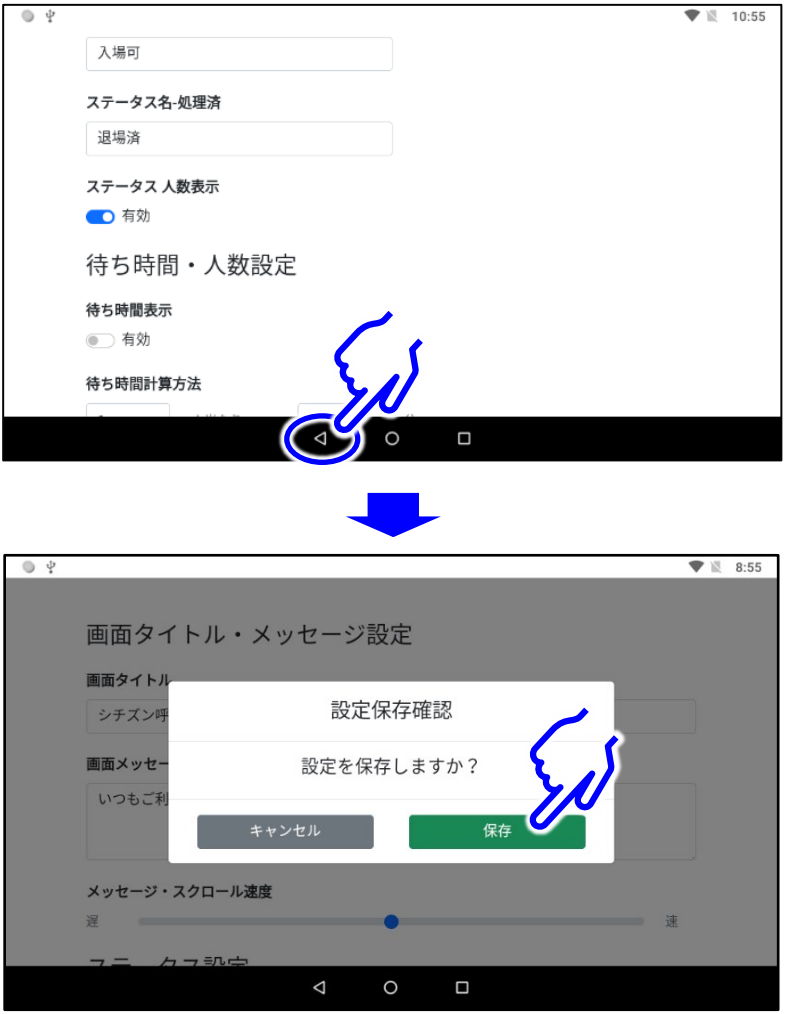
⑧ 「ステータス名-処理済」の入力枠をタップします。



⑨ キーボードを操作して所望の文字を入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。



⑩ バックボタンをタップし、「保存」をタップします。



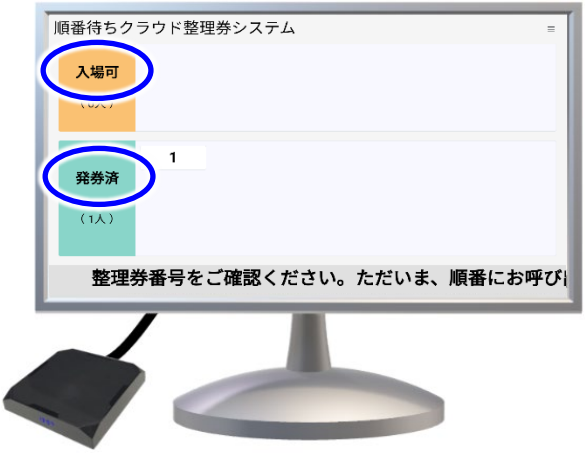
⑪ 変更が各画面に反映されていることを確認します。



管理端末画面



呼出し確認画面
（スマホ等）



呼出し表示画面
（モニター）

1.3 整理券番号管理端末およびモニターの画面配色の変更

ここでは整理券番号管理端末およびモニターの画面の配色（テーマカラー）を変更する方法を説明します。※1

テーマカラーの種類（整理券番号管理端末）※2

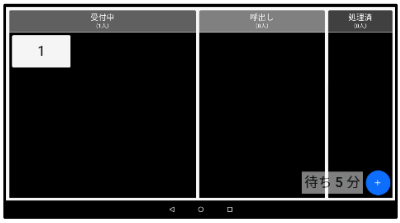
標準



ピンク



モノトーン



ブラウン



グリーン



ブルー

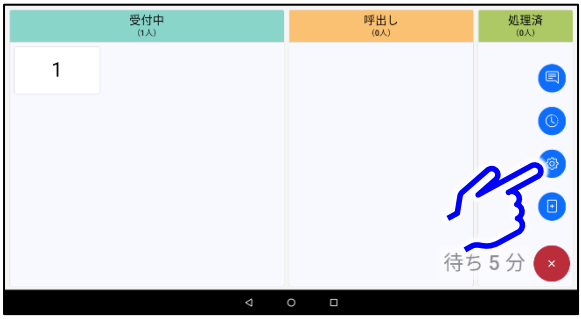


※1 スマホ等で表示する呼出し確認画面の配色は変更されません。
※2 モニターの画面も整理券番号管理端末と同様の配色に変更されます。

① 「＋」アイコンをタップします。



② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



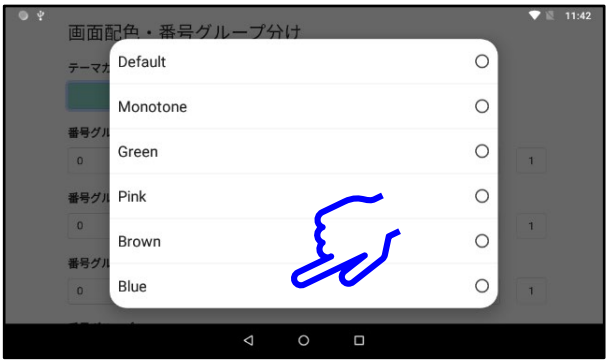
③ 上方向にスライドして「画面配色・番号グループ分け」を表示します。



④ 「テーマカラー」をタップします。



⑤ 所望のテーマカラーをタップします。



⑥ 画面の余白部分をタップして変更を確定します。※1



※1 この操作を行わないと正しく変更されません。

⑦ バックボタンをタップし、「保存」をタップします。







テーマカラーが変更されました！！

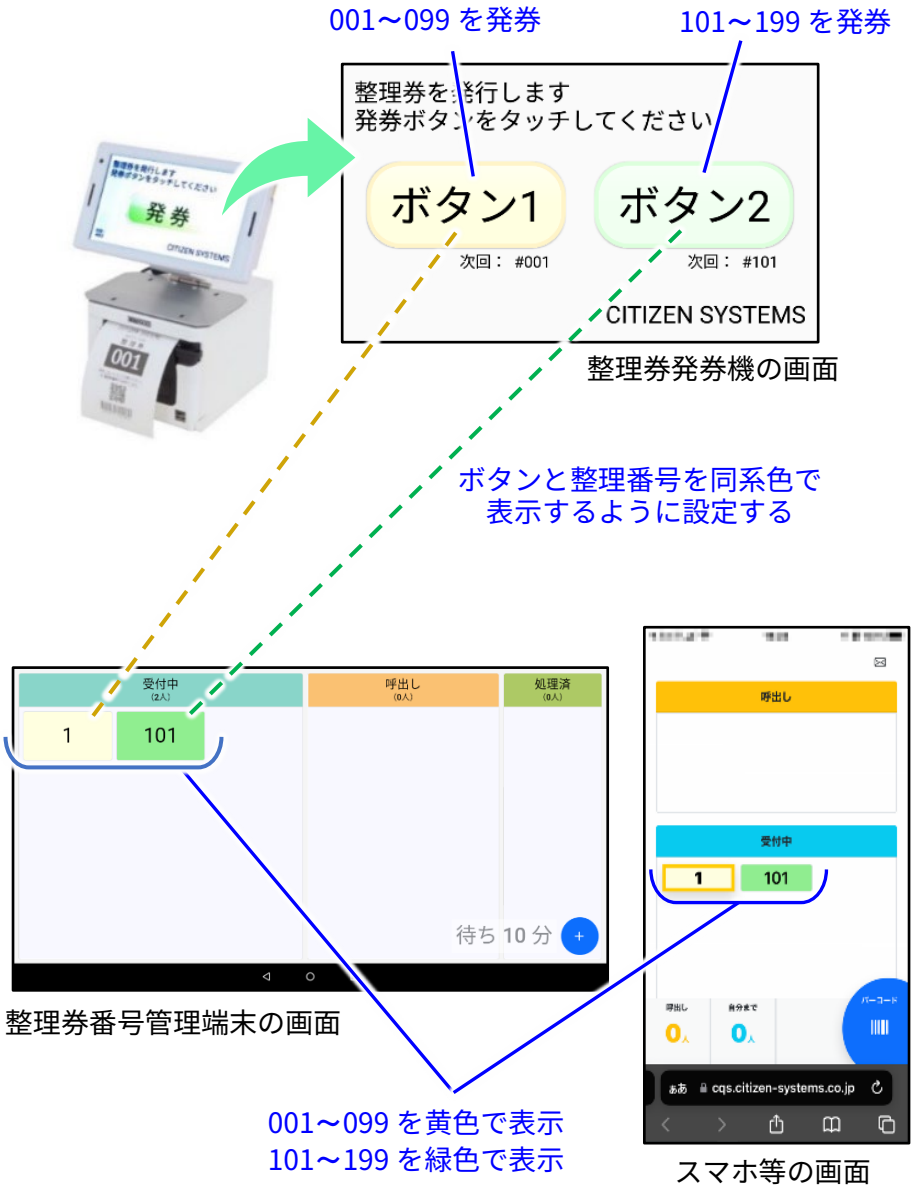
1.4 整理番号のグループ分けと表示色設定

整理券発券機では最大 8 個の発券ボタンを設定でき、ボタンごとに 1〜99 や 101〜199 など異なる番号範囲を発券できます。

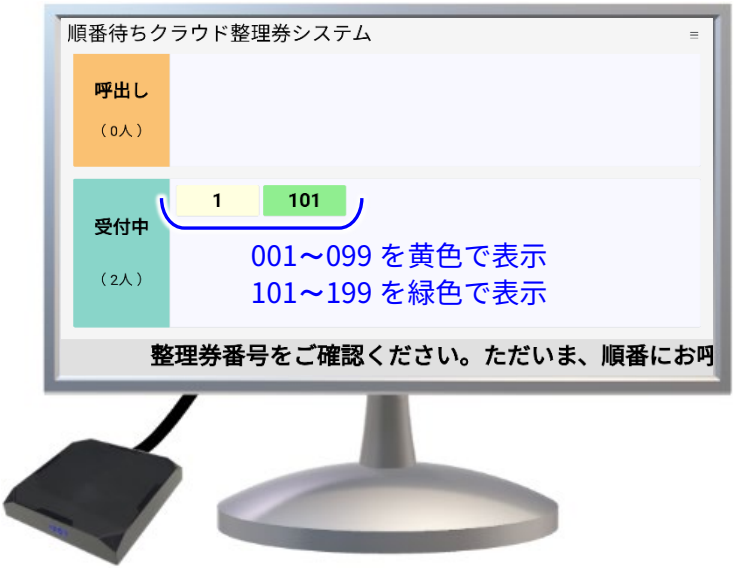
整理券番号管理端末では、1〜99 や 101〜199 などのグループごとに表示色を設定でき、スマホ画面やモニターの表示にも反映されます。

補足：ここでは整理券番号管理端末の設定について説明します。
整理券発券機で 2 つ以上の発券ボタンを使用する方法に関しては、
「2.1　発券ボタンの数やボタンのデザインの変更」をご参照ください。

グループによる色分けの例



モニターの画面


順番待ちクラウド整理券システム
呼出し
（0人）
受付中
（2人）
1
101
001～099 を黄色で表示
101～199 を緑色で表示
整理券番号をご確認ください。ただいま、順番にお呼

① 「＋」アイコンをタップします。



② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして
「画面配色・番号グループ分け」を表示します。



④ 「番号グループ-1」の最小番号入力枠をタップします。



⑤ 所望の番号を入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。



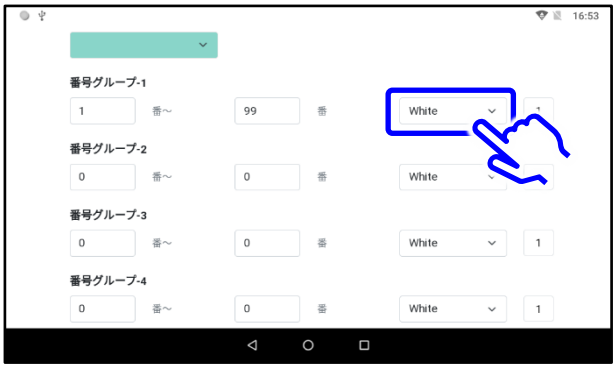
⑥ 「番号グループ-1」の最大番号入力枠をタップします。



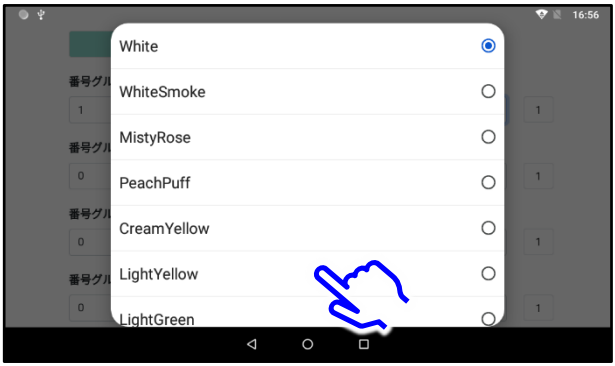
⑦ 所望の番号を入力します。入力が終わりましたら余白部分をタップしてキーボードを閉じます。



⑧ グループ色選択欄をタップします。



⑨ 所望の色をタップします。

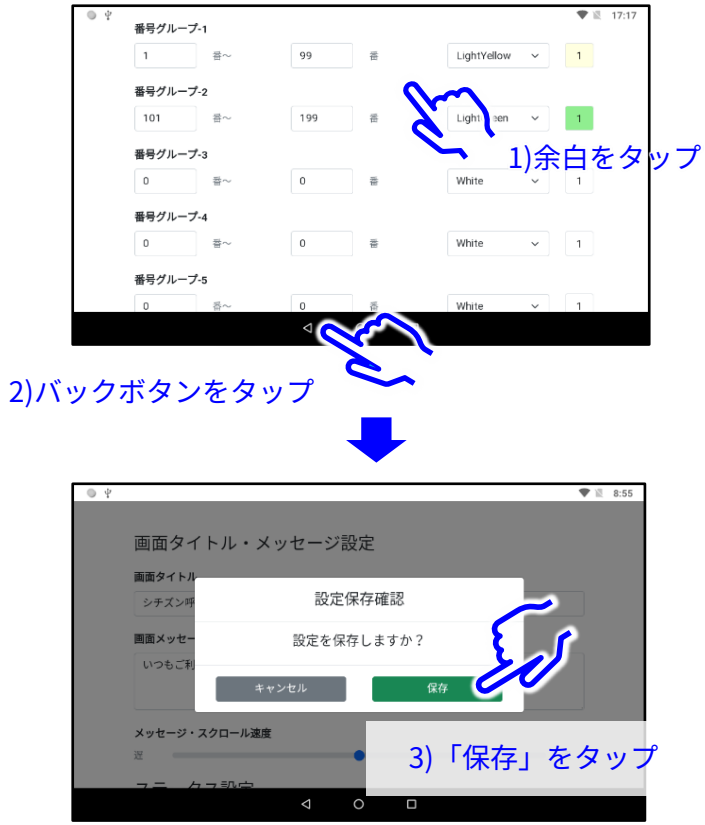


⑩　「番号グループ-2」も④～⑨と同様の操作で所望の番号範囲と表示色に設定します。※1



※1「番号グループ-3」～「番号グループ-10」も必要に応じて同様に変更してください。番号の範囲には 1～999999 の番号が使用できます。
※2 最大番号を先に、最小番号を次に入力するとスムーズに設定できます。

⑪ 変更が終わりましたら画面の余白部分を 1 回タップして、からバックボタンをタップし、「保存」をタップします。



⑫ 変更が各画面に反映されていることを確認します。



1.5 整理券番号管理端末の設定初期化

以下では変更した設定を出荷時の状態に戻す操作について説明します。

① 「＋」アイコンをタップします。



② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして「設定初期化」を表示します。
補足：「設定初期化」は画面の一番下側にあります。

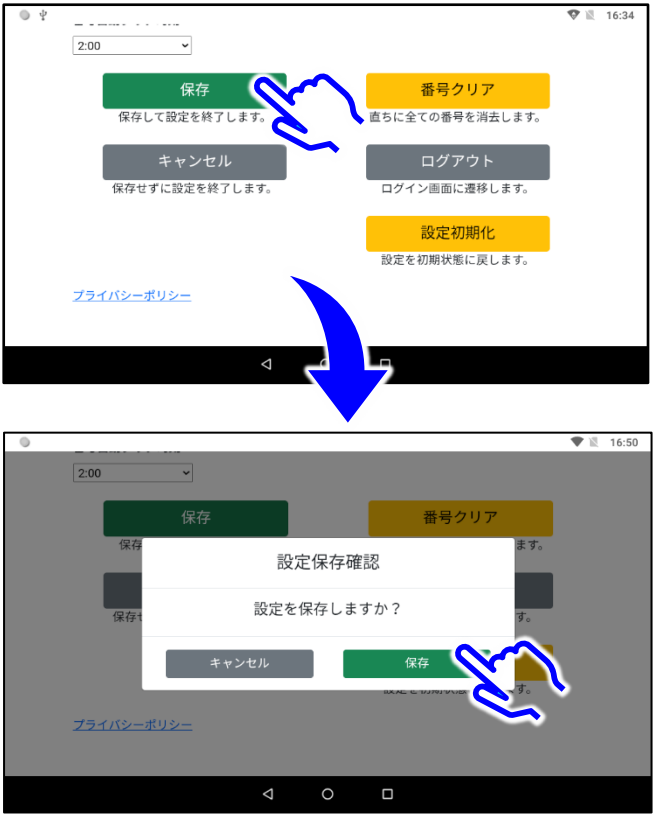


④ 「設定初期化」をタップして、下のメッセージが表示されたら「初期化」をタップします。



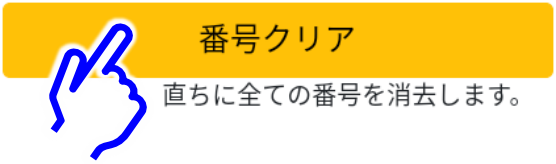


⑤　「保存」を 2 箇所タップして初期化を完了します。



補足：「設定初期化」を実行しても表示中の整理番号は消去されません。
消去する場合は「番号クリア」を実行後、「保存」を行ってください。





1.6 呼び出し音声の変更

出荷時には番号の呼び出し時に、チャイム音に続けて読み上げ音声「XXX 番の方、お越しください」が再生される設定になっています。使用状況に合わせて「チャイム音のみ」、「読み上げ音声のみ」、「音声なし」などに変更したり、読み上げ音声の文言を選んだり、復唱するように設定することが可能です。

① 「＋」アイコンをタップします。



② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。

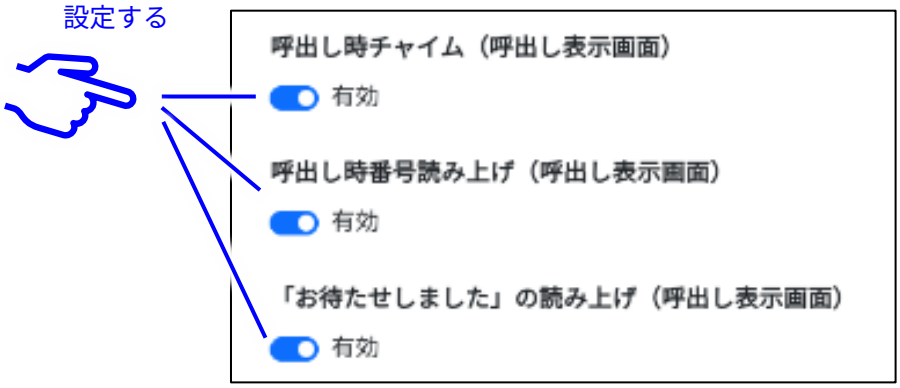


③ 画面を上にスライドして「音声設定」を表示します。



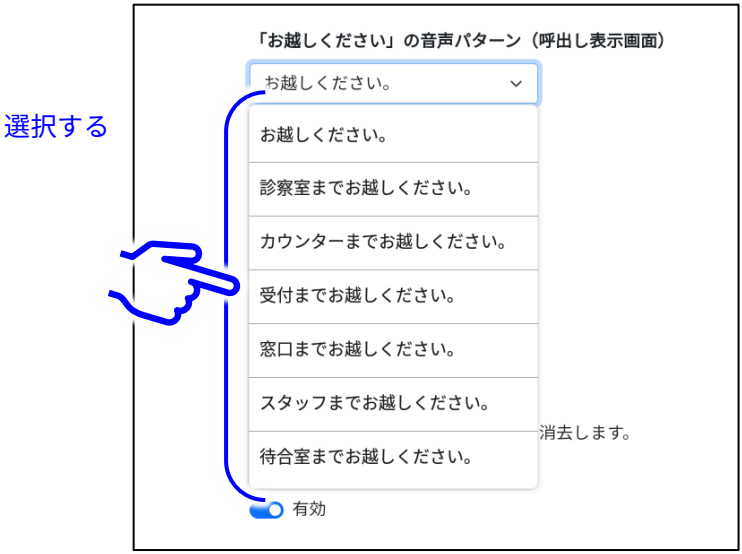
④ 使用状況に応じて「呼出し時チャイム」、「呼出し時番号読み上げ」、「「お待たせいたしました」の読み上げ」、有効／無効を設定します。

※1



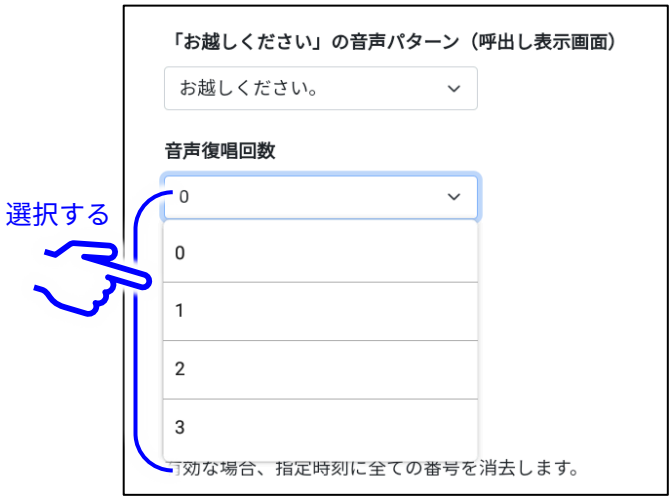
※1 すべて無効にすると呼び出し時に音声が再生されなくなります。

⑤ 必要に応じて、「お越しください」の音声パターンを変更します。



⑥ 必要に応じて音声の復唱回数を変更します。

補足：1 を設定すると 2 回読み上げ（復唱が 1 回）になります。



⑦ バックボタンをタップし、「保存」をタップします。



⑧ 呼び出し操作を行い、呼び出し音声が変更されていることを確認しましょう。

1.7 番号の呼出し先の個数を増やす（最大 3 つまで）

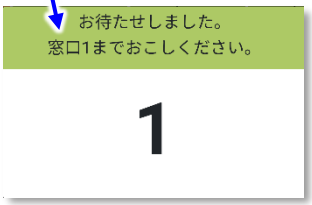
番号の呼出し先の個数を増やして、呼出し先の名前を「窓口 1」、「窓口 2」、「窓口 3」などに自由に設定することができます（最大 3 つまで）。

呼出し先を 3 つに設定した例



呼出し表示画面（モニター）

設定した呼出し先名が
呼び出しのときに表示されます





整理券番号管理端末



スマホ呼び出し画面

補足：以下は呼出し先を 3 つに設定する場合の操作例となります。

① 「＋」アイコンをタップします。



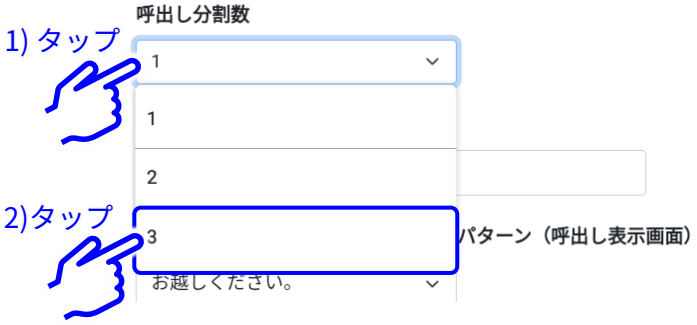
② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして「呼出し分割数」を表示します。



④　「呼出し分割数」を 3 に変更します。
補足：実際の運用状況に合わせて「呼出し分割数」をお選びください。



⑤　「ステータス名 - 呼び出し 1」をタップしソフトキーボードで編集します。



⑥　「ステータス名 - 呼び出し 2」および「ステータス名 - 呼び出し 3」も同様に編集します。

⑦ バックボタンをタップして変更を保存します。



バックボタンをタップ



⑧ 呼出し先の個数と名前が設定した通りになっていることを確認します。



呼出し表示画面（モニター）



整理券番号管理端末

1.8 番号管理画面に表示される番号のサイズの変更

番号管理画面に表示される番号のサイズを大・小の 2 種類から選択できます。ご使用状況に合わせて番号を大きくして見やすくしたり、番号を小さくして画面内に表示される番号の数を増やしたりすることができます。

補足：初期設定はサイズが大となります。



番号サイズ（大）



番号サイズ（小）

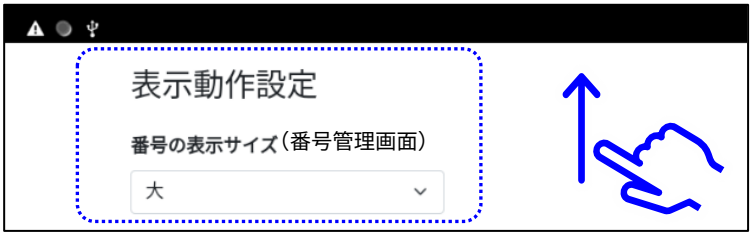
① 「＋」アイコンをタップします。



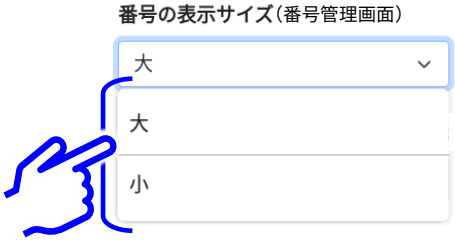
② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして「表示動作設定」に移動します。



④ 「番号の表示サイズ（番号管理画面）」をタッチして、ご所望の表示サイズを選択します。



⑤ バックボタンをタップして変更を保存します。



バックボタンをタップ



⑥ 番号のサイズが設定した通りになっていることを確認します。



1.9 モニターに表示される番号のサイズの変更

モニターに表示される番号のサイズを大・中・小の 3 種類から選択できます。ご使用状況やモニターのサイズに合わせて番号を大きくして見やすくしたり、番号を小さくして画面内に表示される番号の数を増やしたりすることができます。

番号サイズ（大）



番号サイズ（中）



番号サイズ（小）



① 「＋」アイコンをタップします。



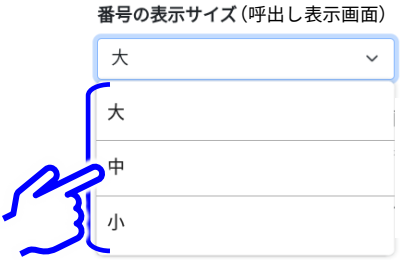
② 設定アイコンをタップして設定画面を開きます。



③ 画面を上方向にスライドして「表示動作設定」に移動します。



④ 「番号の表示サイズ（呼出し表示画面）」をタッチして、ご所望の表示サイズを選択します。



⑤ バックボタンをタップして変更を保存します。



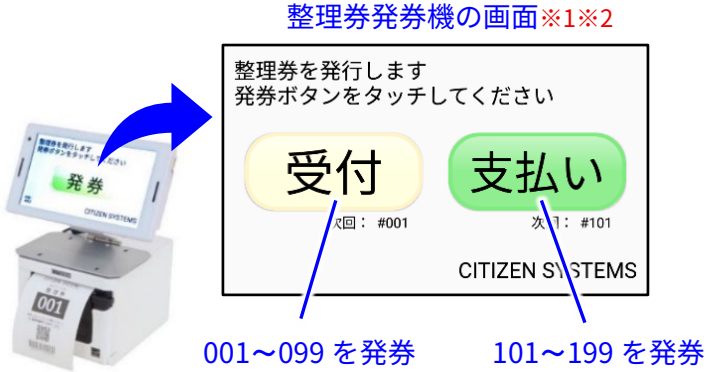
⑥ 番号のサイズが設定した通りになっていることを確認します。



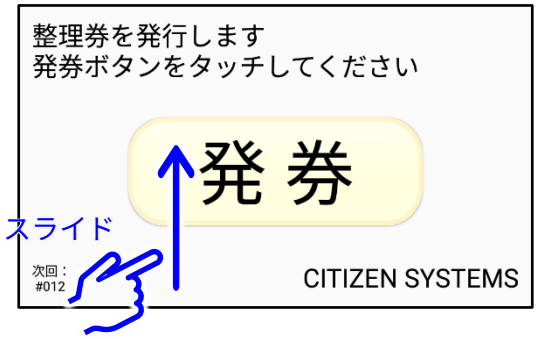
2. 整理券発券機の設定変更

2.1 発券ボタンの数やボタンのデザインの変更

ここでは、発券ボタンごとに異なる番号範囲（例：1～99、101～199）を発券する設定方法を説明します。受付窓口と支払い窓口など、複数の窓口での運用に便利です。



① 発券画面が開いている場合は、画面の下側を上にスライドしてバックボタンを表示します。※3



※1 ボタンは最大で 8 個まで使用できます。

※2 整理券番号管理端末の表示色は発券ボタンごとに設定できます。詳しくは「1.4 整理番号のグループ分けと表示色設定」を参照してください。

※3 シチズン整理券アプリが起動していない場合は起動してください。

② バックボタンをタップして「メニュー」画面を開きます。



③ 「整理券設定」をタップし、「表示設定」をタップします。



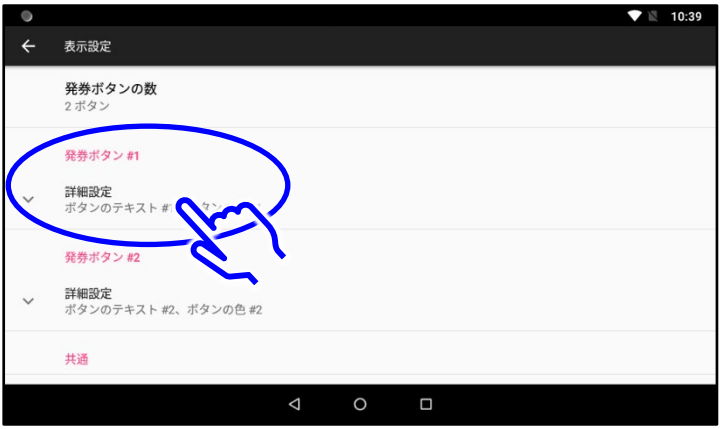
④　「発券ボタンの数」をタップし所望のボタンの数をタップします。

補足：初期設定では、発券ボタン#1 は 001～、#2 は 101～、…、
#8 は 701～の整理番号を発券します。

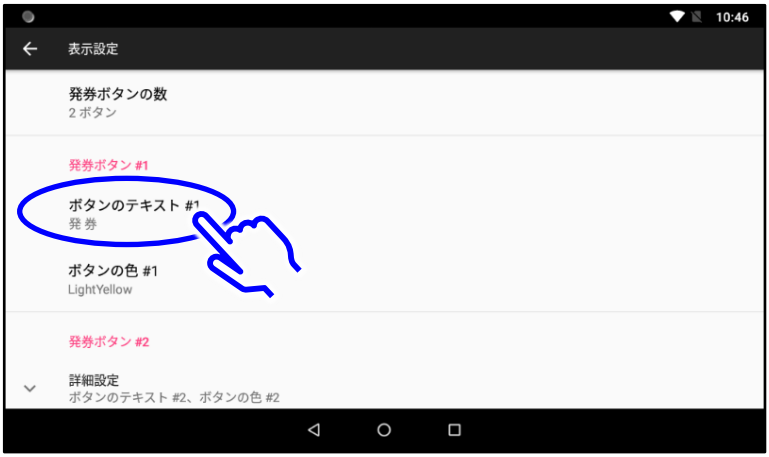


補足：次の操作ではボタンに表示する文字を設定します。

⑤　「発券ボタン#1」の「詳細設定」をタップします。



⑥ 「ボタンのテキスト#1」をタップします。



⑦ キーボードからボタンに表示する文字を入力します。終わりましたら「OK」をタップします。



補足：次の操作ではボタンの表示色を設定します。

⑧ 「ボタンの色#1」をタップします。



⑨ 所望の色を選択して、「OK」をタップします。



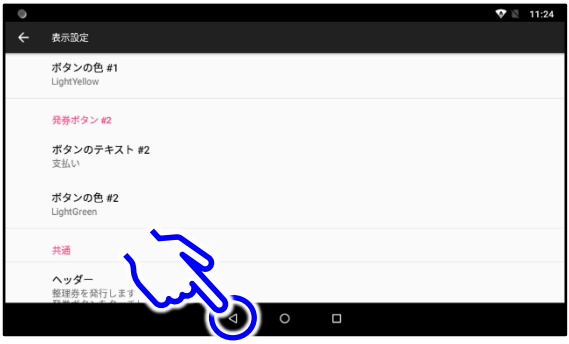


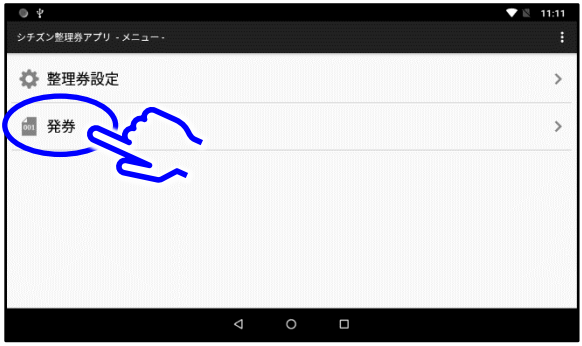
⑩ 「発券ボタン#2」に関しても⑤～⑨の手順で表示文字とボタン色の設定を行います。

補足：「発券ボタン#3」以降の設定方法に関しても同様です。



⑪ バックボタンを繰り返しタップして「メニュー」画面に戻り、「発券」をタップします。





⑫ 発券画面が正しく変更されていることを確認します。

発券ボタンが 2 個の例

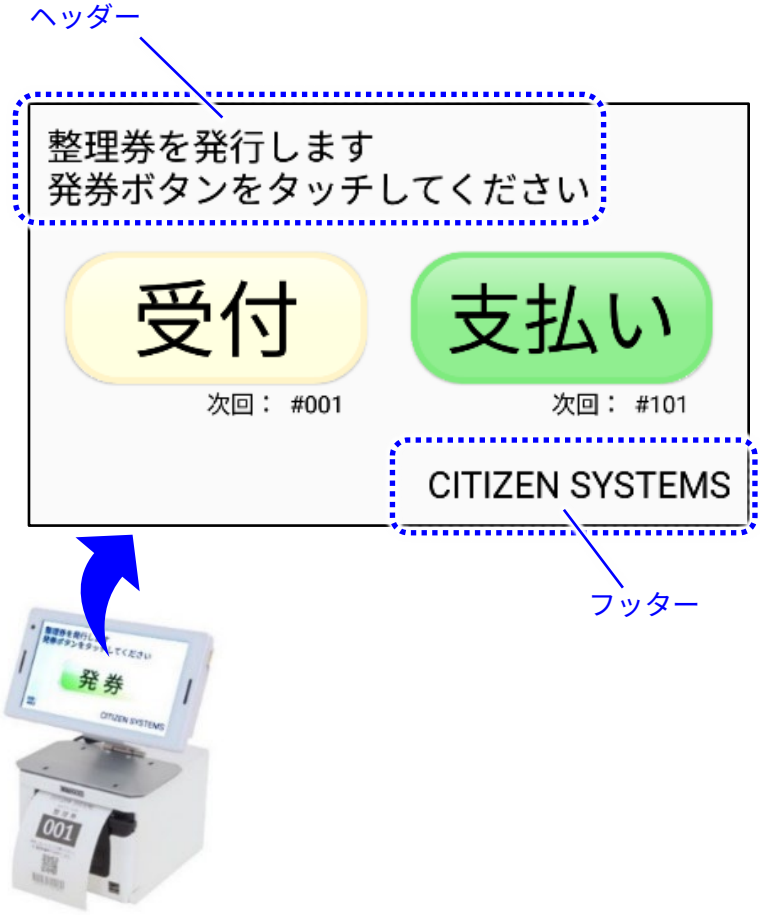


発券ボタンが 8 個の例



2.2 発券画面に表示する文字の変更

整理券発券機の発券画面に表示する文字（ヘッダーとフッター）は自由に変更できます。



補足：次の操作ではヘッダーの文字を変更します。

① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」、「表示設定」の順でタップします。



② 画面を上方向にスライドし、「共通」を表示します。



③ ヘッダー（画面上側の文字）をタップして、ソフトキーボードで所望の文字に変更します。終わりましたら「OK」をタップします。



④ フッター（画面下側の文字）も③の操作と同様に変更します。



⑤ 操作が完了したら、発券画面が変更されていることをご確認ください。



変更例

2.3 整理券に印刷する文字の変更

整理券に印刷される文字（ヘッダー、見出し、フッター）は、発券ボタン毎に個別に設定できます。

整理券に印刷される文字



① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」、「印刷設定」の順でタップします。



② 発券ボタンを 2 個以上使用する場合は「発券ボタン毎の印刷設定」をON にします。※1

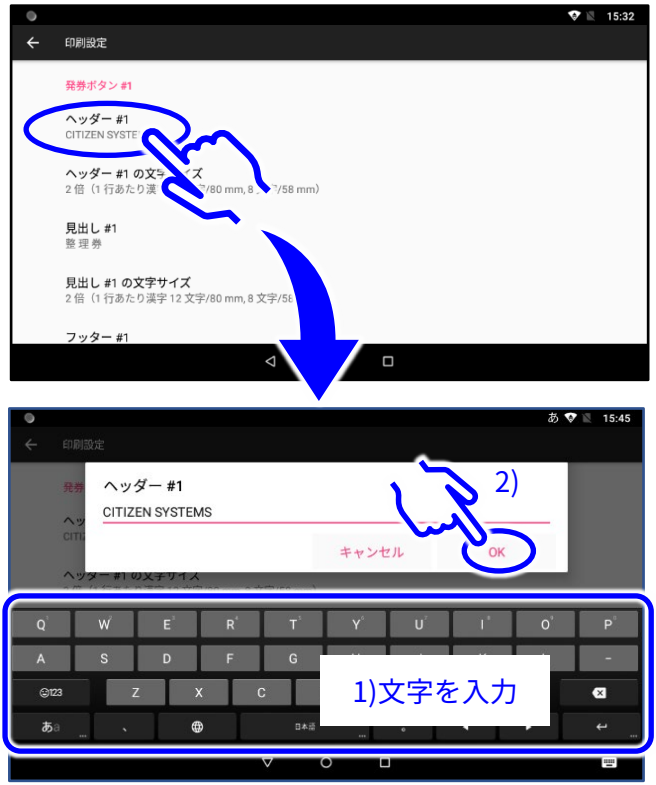


※1 OFF のままの場合は発券ボタン#1 の設定が他のボタンの設定にも使用されます。

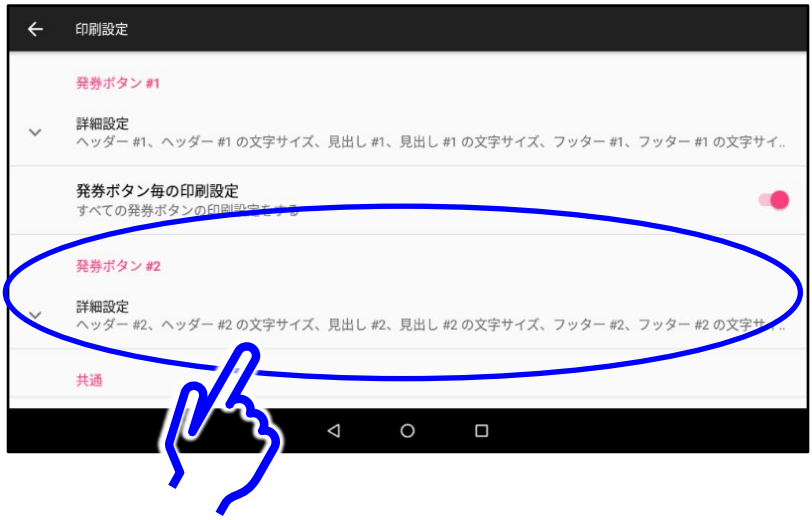
③ 「発券ボタン#1」の「詳細設定」をタップします。



④ 変更する項目（例えばヘッダー）をタップしてソフトキーボードで変更します。終わりましたら「OK」をタップします。



⑤ 発券ボタンが 2 つ以上ある場合は各発券ボタンの「詳細設定」をタップし、③、④の手順を繰り返します。



補足：文字のサイズも変更可能です。



2.4 整理券に印刷する整理番号のデザインの変更

整理券に印刷される整理番号の文字サイズや書体、白黒反転などの設定を変更できます。※1

整理券の例



出荷時のデザイン　　デザイン変更例

※1 発券ボタンが複数ある場合でも発券番号のデザインはすべてのボタンで共通となります。

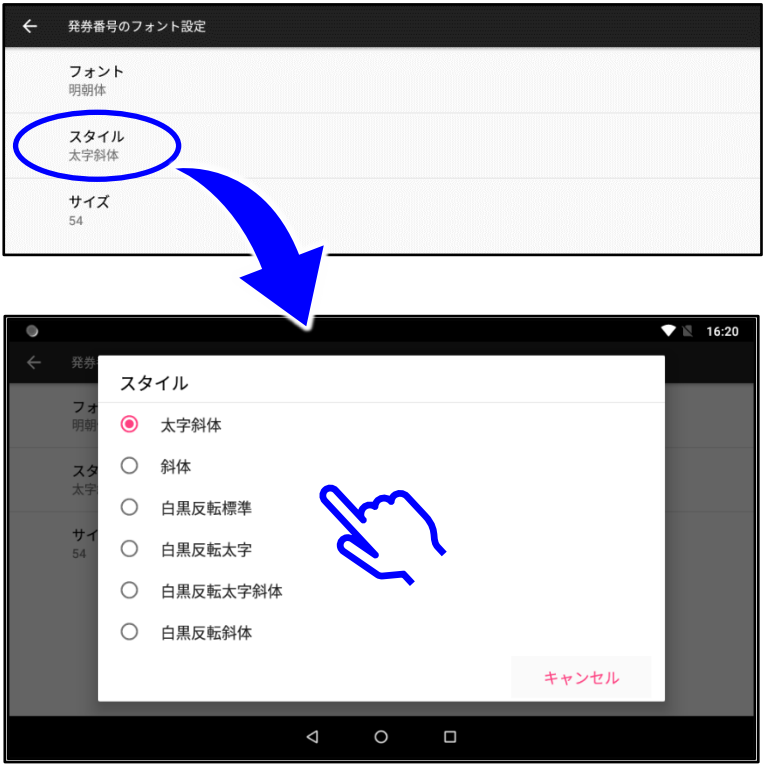
① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」、「番号設定」の順でタップします。



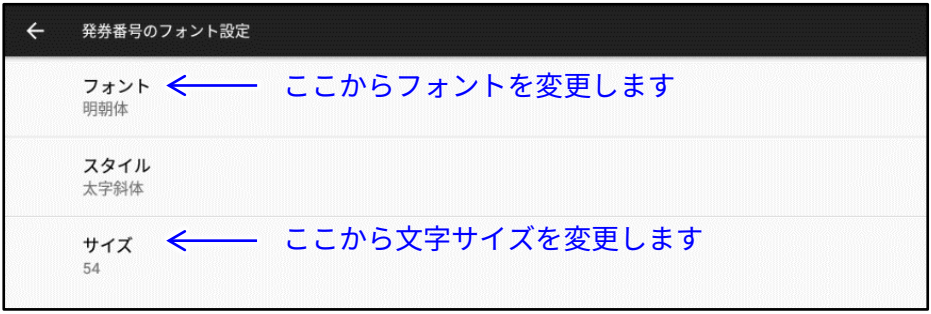
② 画面を上方向にスライドし、「発券番号のフォント設定」を表示してタップします。



③　「スタイル」をタップして所望のスタイルを選択します。



補足：整理番号のフォントや文字サイズもお好みに合わせて変更可能です。



スタイルの例

太字斜体



斜体



白黒反転標準



白黒反転太字



白黒反転太字斜体



白黒反転斜体



2.5 整理券を二枚一組で発券する

整理券を二枚一組で発券するように設定を変更可能です。一枚を受付保管用に、もう一枚をお客様控用などに使用する場合に便利です。



二枚一組の整理券

CITIZEN SYSTEMS
2022/9/27 15:01
整 理 券
001
紛失しないようにご注意ください。
※ 整理券番号でお呼びします。
スマホで順番を確認できます
【 控 え 】

CITIZEN SYSTEMS
2022/9/27 15:01
整 理 券
001
※ 整理券番号でお呼びします。
紛失しないようにご注意ください。
スマホで順番を確認できます
【 原 本 】

二枚一組で発券する場合、整理券に【控え】と【原本】の目印が印刷されます。

※目印の文字は変更可能です。

① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」、「印刷設定」の順でタップします。



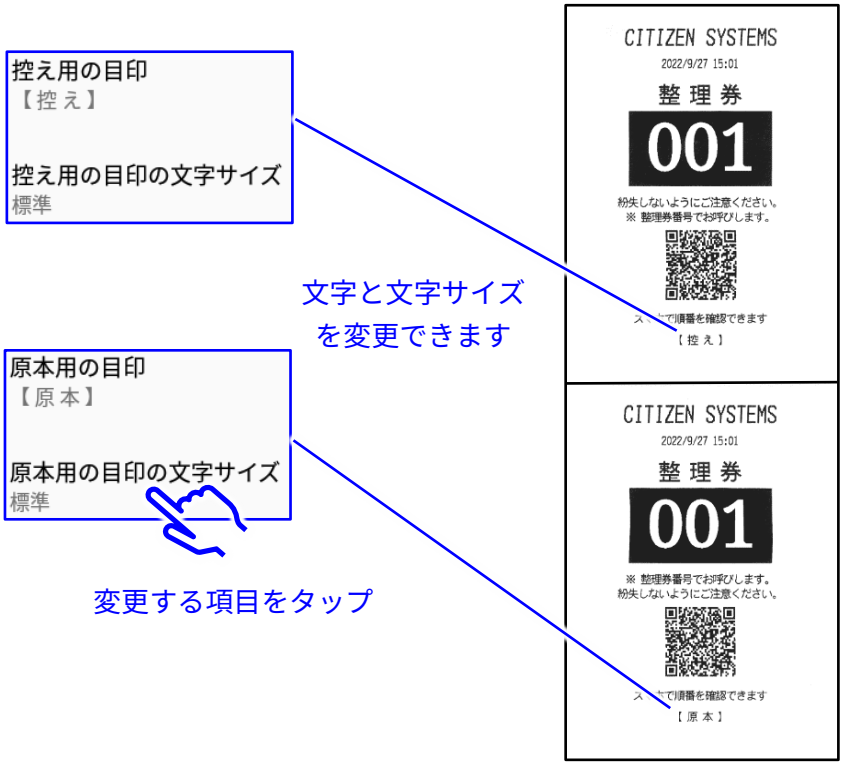
② 画面をスライドして「複写印刷」を表示します。



③ 「複写印刷」を ON（赤色）にします。



④ 必要に応じて目印の文字と文字サイズを変更してください。



2.6 58mm 幅のレシート紙を使用する

整理券発券機は出荷時には 80mm 幅の用紙を使用する設定になっていますが、58mm 幅の用紙を使用することも可能です。

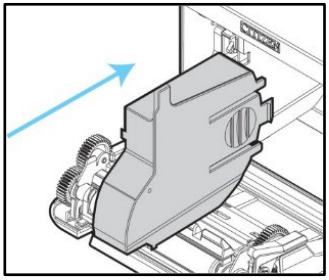
※以下の操作はプリンターと発券端末が USB ケーブルで接続されている状態で行ってください。

プリンターの準備

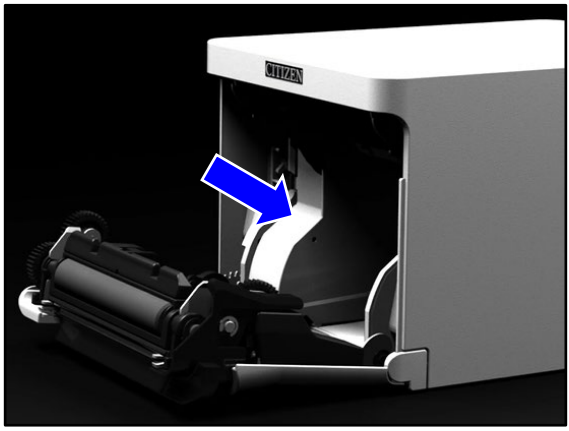
① プリンターの電源を OFF にして、図のレバーを矢印の方向に押してカバーを開けます。内部にレシート紙がある場合は取り除いてください。



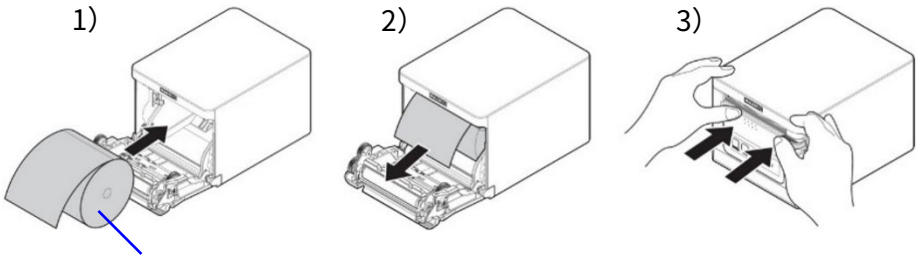
② 付属品の用紙パーティションを下の図の様にはめ込みます。



用紙パーティション



③ プリンターを電源 ON し、下の図の手順で 58mm 幅のレシート紙をセットしてカバーを閉めます。カバーを閉じると用紙が自動的にカットされます。



シチズン整理券アプリの用紙幅の設定変更

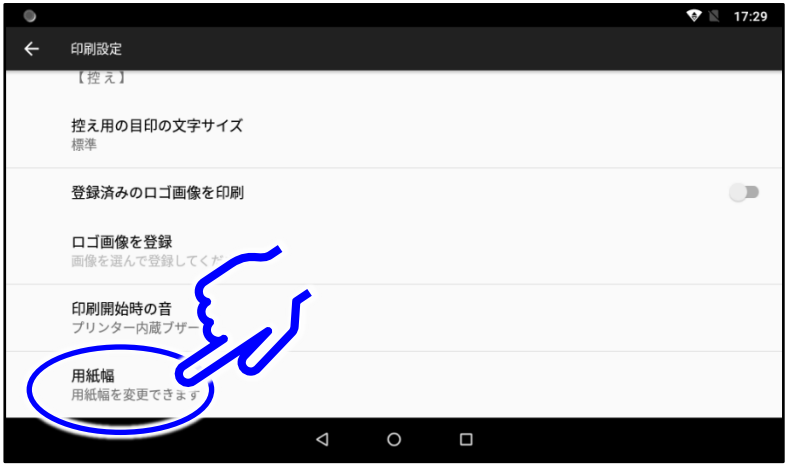
① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」、「印刷設定」の順でタップします。



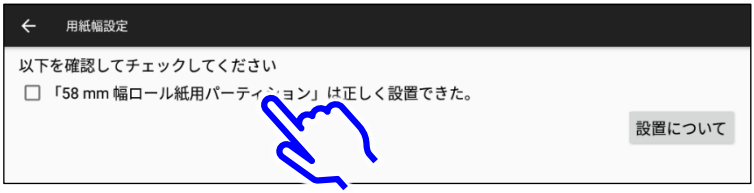
② 画面をスライドして「用紙幅」を表示します。



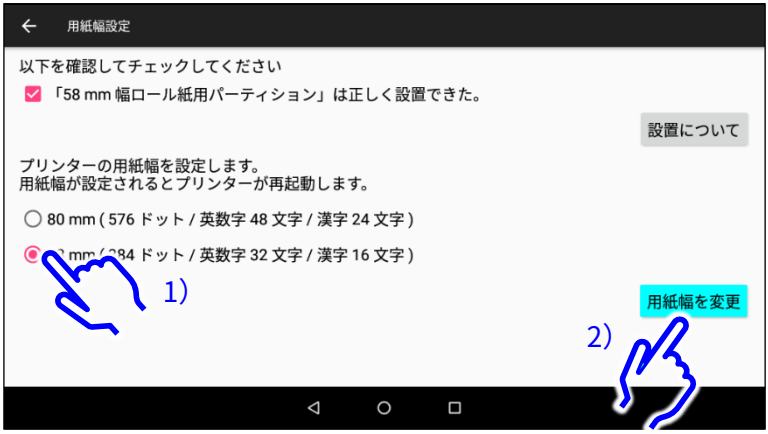
③ 「用紙幅」をタップします。



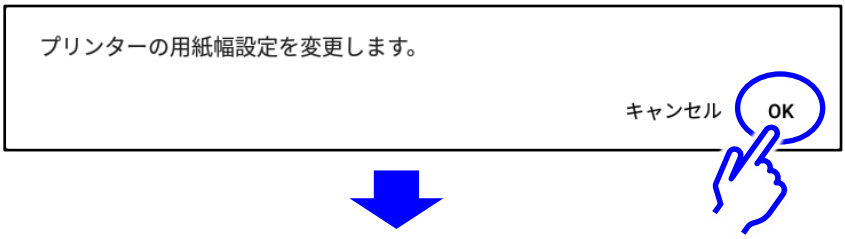
④ 「58mm 幅ロール紙用パーティションは正しく設置できた。」をタップします。



⑤ 「58mm（384 ドット/英数字 32 文字/漢字 16 文字)」をタップして、「用紙幅を変更」をタップします。



⑥ 次のメッセージが表示されたら「OK」をタップします。



プリンターとシチズン整理券アプリが自動的に再起動されましたら用紙幅の変更完了です。

2.7 整理券発券機の設定初期化

変更された設定を出荷時の状態に戻す操作について説明します。

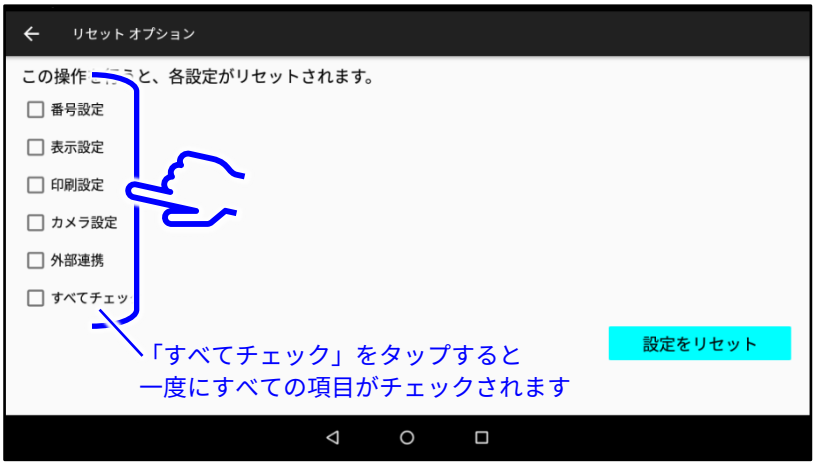
① 「シチズン整理券アプリ」を起動し、「整理券設定」をタップし、画面をスライドして「リセットオプション」表示します。



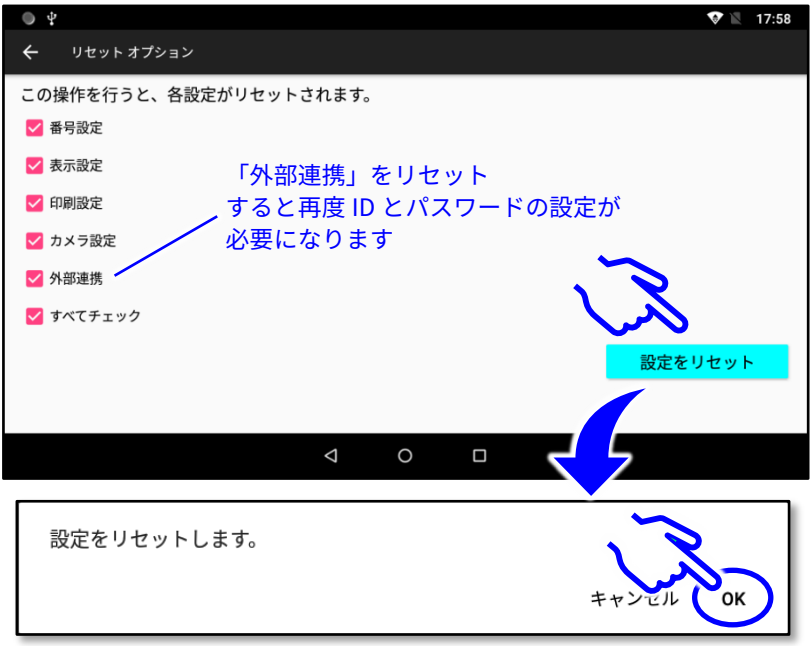
② 「リセットオプション」をタップします。



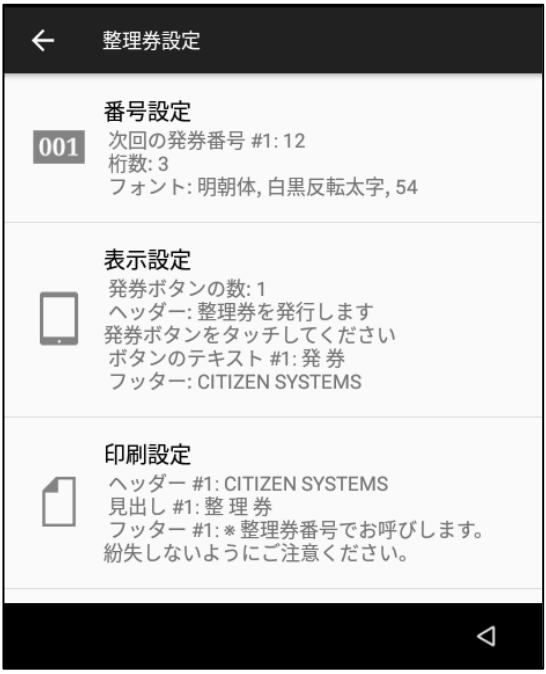
③ 初期化を行う項目にチェックを付けます。



④ 「設定をリセット」をタップし、メッセージが表示されましたら「OK」をタップします。



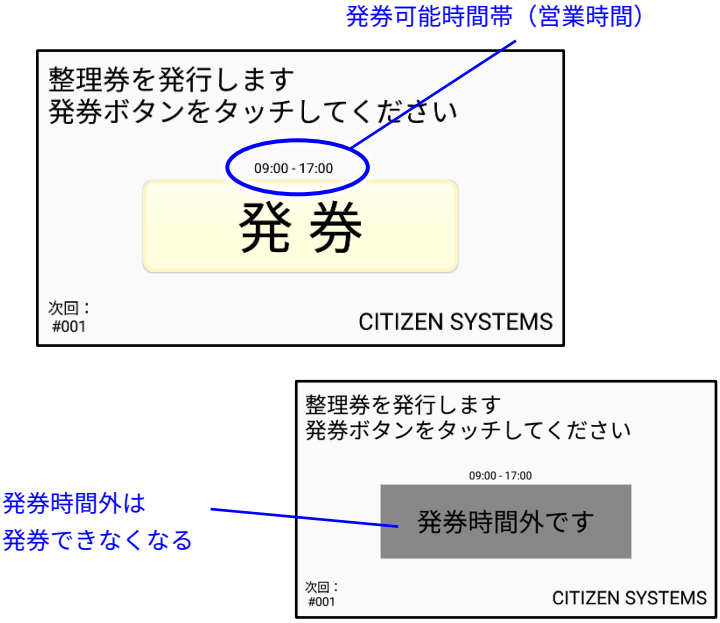
⑤ メッセージが閉じて「整理券設定」画面に自動的に戻りましたら初期化完了です。



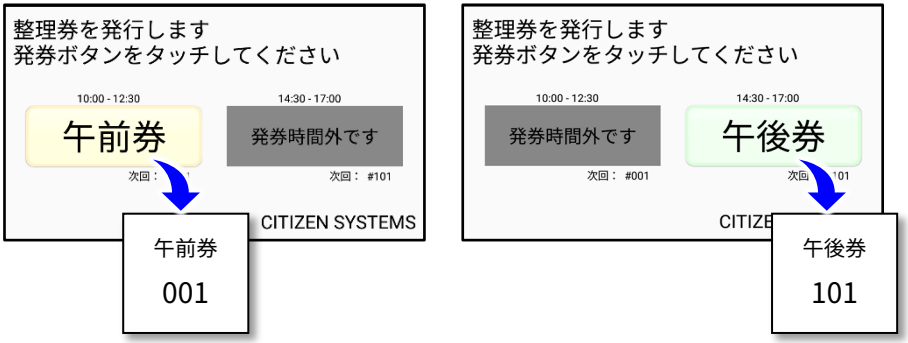
2.8 発券ボタンに発券可能時間帯を設定する

発券ボタンに発券可能な時間帯を設定することができます。例えば、施設等の営業時間にあわせて発券可能時間帯を設定したり、午前用の発券ボタンと午後用の発券ボタンの発券可能時間帯を別々に設定したりすることなどができます。

＜営業時間にあわせて発券可能時間帯を設定する例＞



＜午前券と午後券の発券ボタンとで発券可能時間帯を別々にする例＞



補足：以下の手順は「発券ボタン＃1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」~「発券ボタン#8」に関しても同様の手順となります。

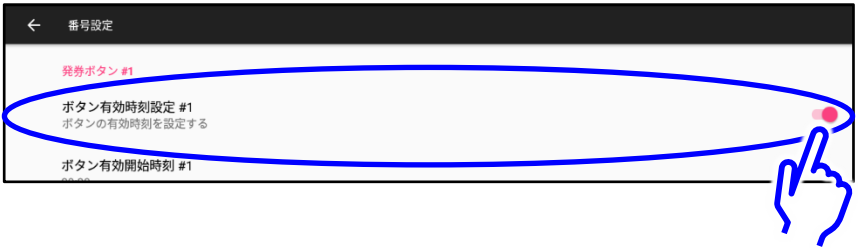
① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



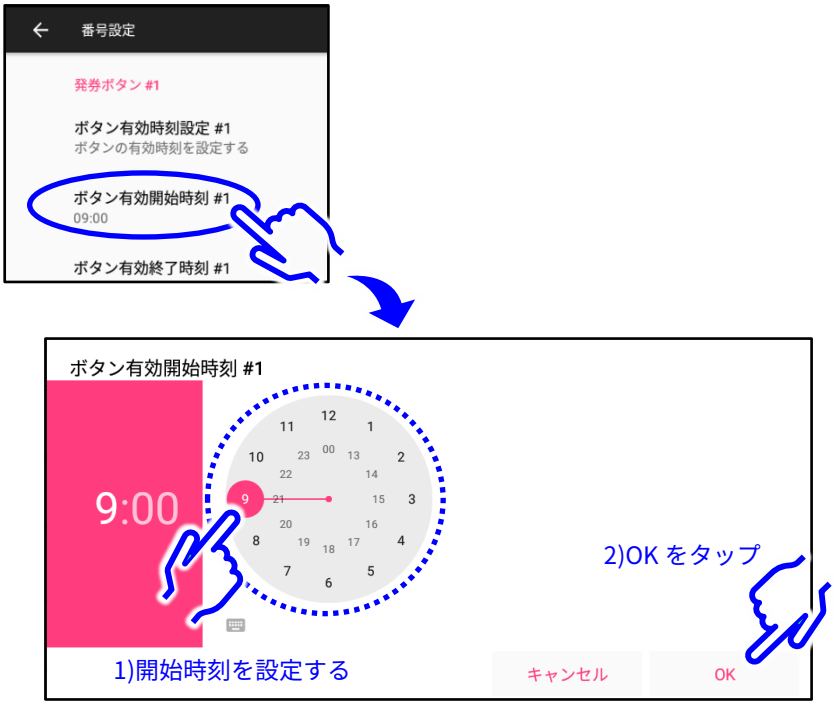
② 「発券ボタン＃1」の「詳細設定」を開きます。



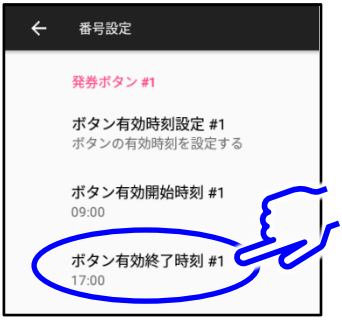
③ 「ボタン有効時刻設定＃1」を有効（ピンク）にします。



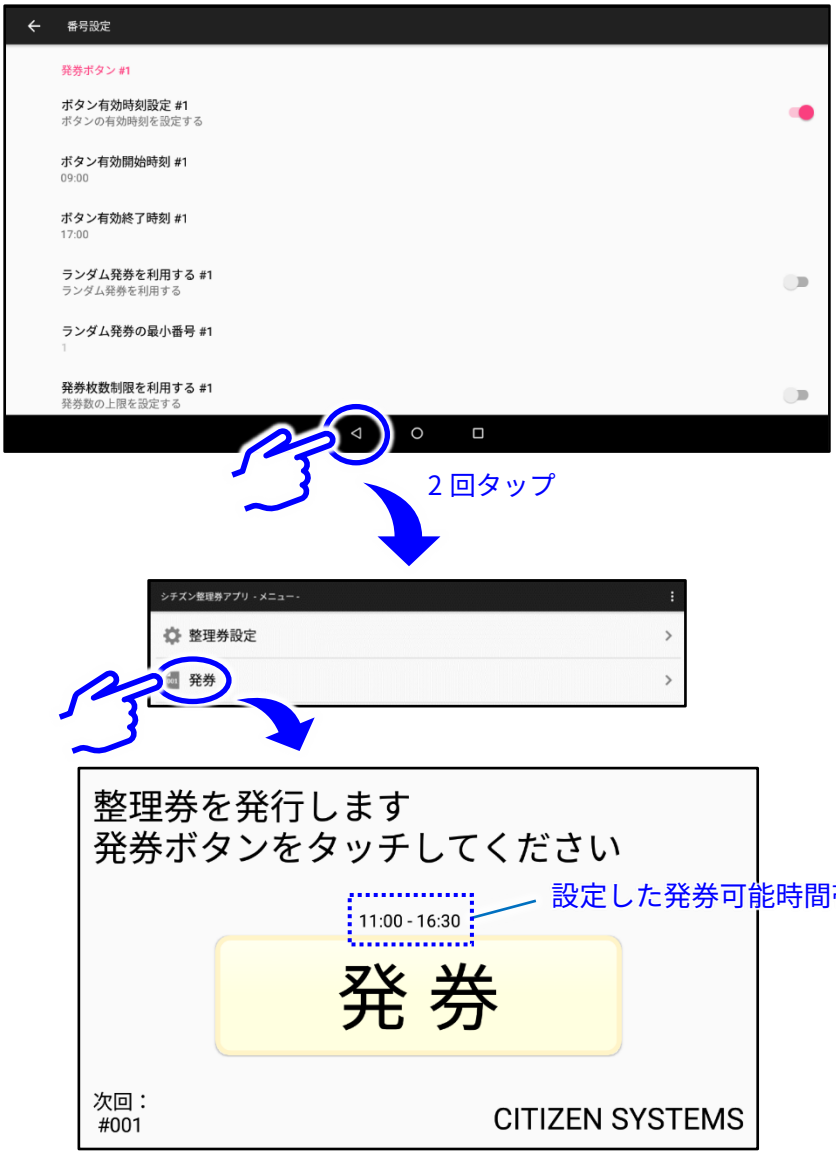
④ 「ボタン有効開始時刻＃1」をタップして、発券可能時間帯の開始時刻を設定します。



⑤ 「ボタン有効終了時刻＃1」をタップして、発券可能時間帯の終了時刻も同様に設定します。



⑥ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券可能時間帯が正しく設定されていることを確認します。

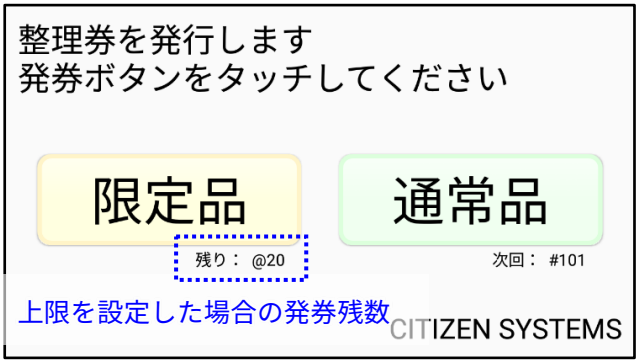


2.9 発券ボタンに発券数の上限を設定する

発券ボタンに発券数の上限を設定することができます。例えば 20 人限定などあらかじめ発券する枚数が決まっている場合に便利です。

補足：発券番号がすでに進んでいる状態で以下の設定を変更すると、予期しない動作が発生する場合があります。設定変更は、できるだけ発券前の状態で行ってください。

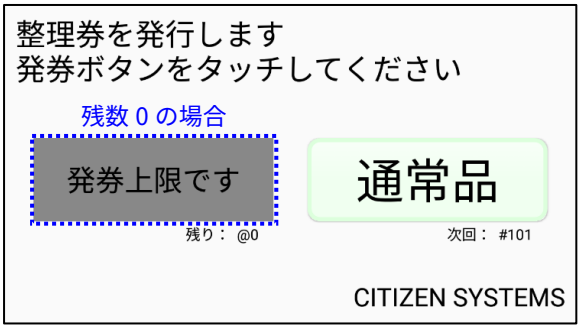
＜左側の発券ボタンに上限を設定した例＞



発券するたびに残数が次のように減っていき、

➡ 残り： @19 ➡ 残り： @18 …

残数が 0 になると、発券できなくなります。※1



※1 発券番号が自動的にクリアされるまで待つと再度発券できるようになります。手動でクリアする場合は次回発券番号を 1 などに戻してください（整理券番号管理端末でも番号クリアが必要です）。

補足：以下の手順は「発券ボタン＃1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」~「発券ボタン#8」に関しても同様の手順となります。

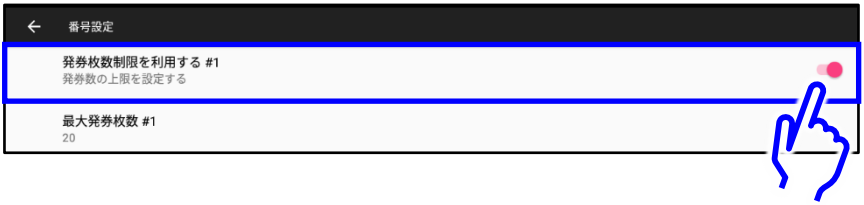
① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



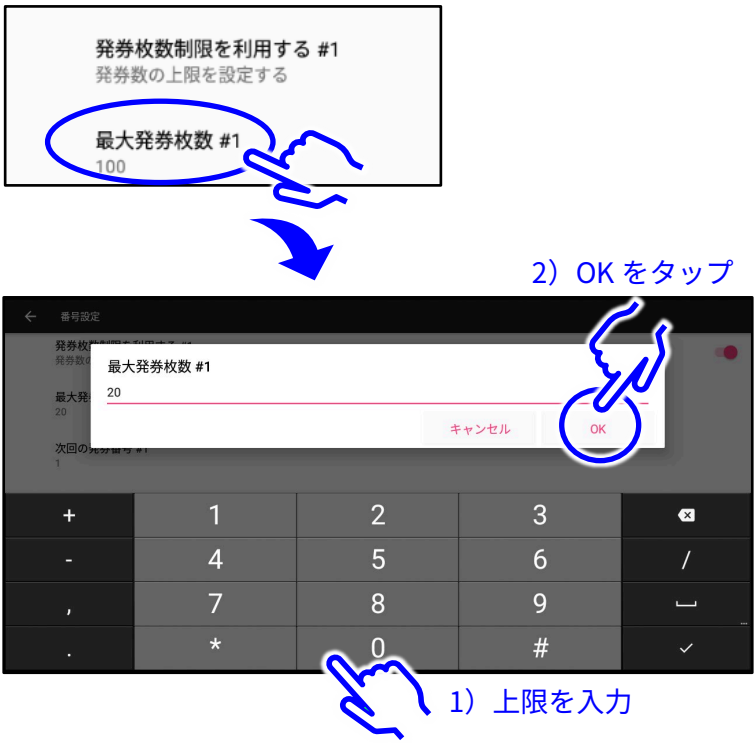
② 「発券ボタン＃1」の「詳細設定」を開きます。



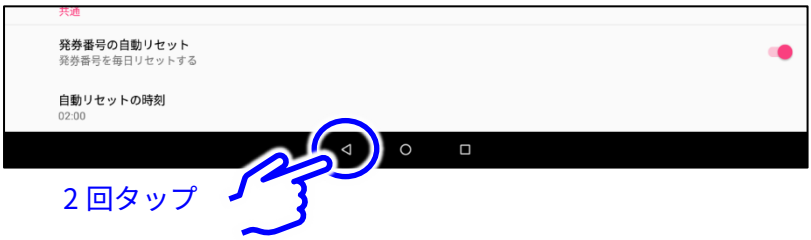
③ 「発券枚数制限を利用する＃1」を有効（ピンク）にします。

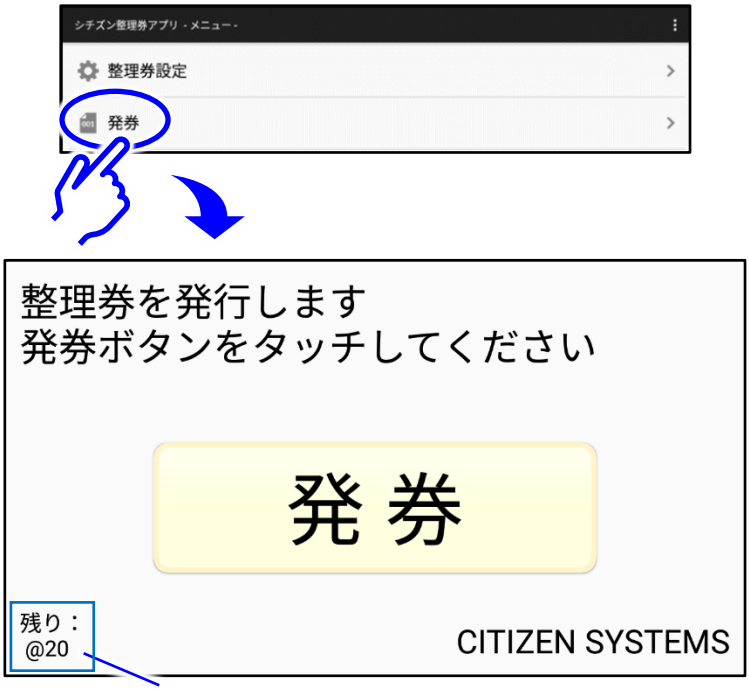


④ つぎに「最大発券枚数#1」をタップして、上限を入力します。入力が終わりましたら「OK」をタップします。



⑤ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券数の上限が正しく設定されていることを確認します。




シチズン整理券アプリ - メニュー -
整理券設定
発券
整理券を発行します
発券ボタンをタッチしてください
発 券
残り：
@20
CITIZEN SYSTEMS
設定した上限枚数

2.10 発券番号の順序をランダムにする

発券番号の順序を 1, 2, 3…のような昇順発券ではなく例えば 70, 15, 38…のようなランダム発券にすることができます。

※ランダム発券の場合は必ず発券枚数の上限の設定が必要となります。
補足：以下の手順は「発券ボタン＃1」を設定する例ですが、「発券ボタン#2」~「発券ボタン#8」に関しても同様の手順で設定できます。

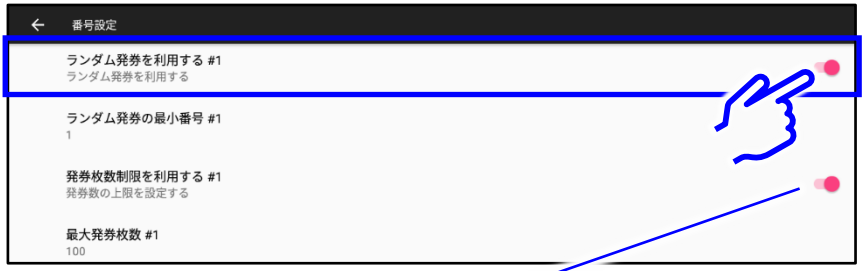
① 「整理券設定」をタップし、「番号設定」をタップします。



② 「発券ボタン＃1」の「詳細設定」を開きます。



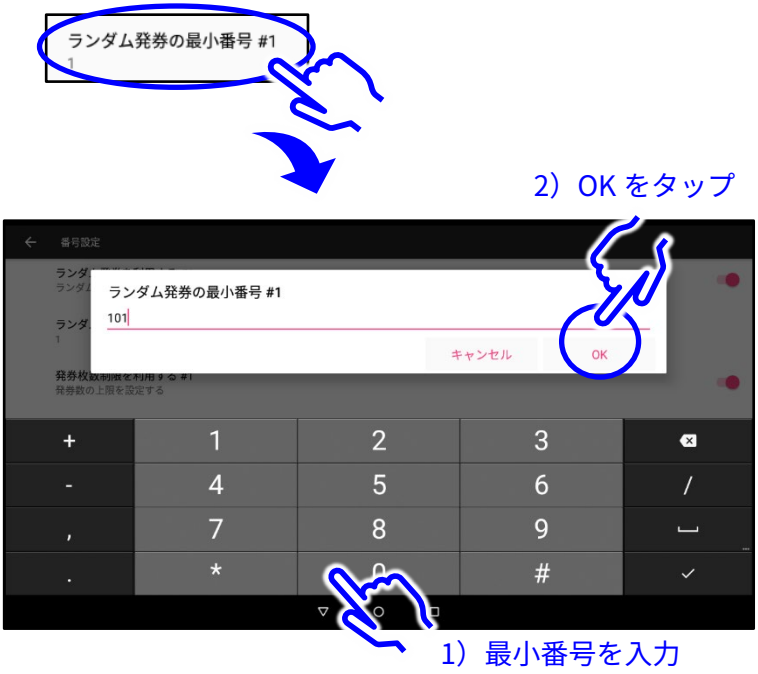
③ 「ランダム発券を利用する＃1」を有効（ピンク）にします。



「発券枚数制限を利用する＃1」も自動的に有効になります。

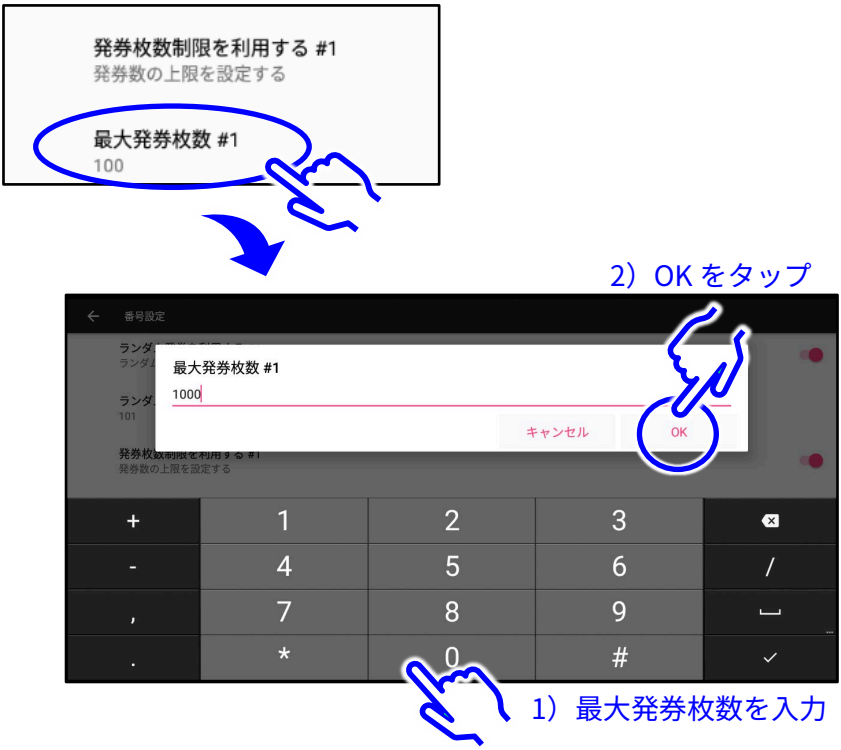
補足：1 番からではなく、例えば 101 番のような番号を最小としてランダムに発券したいような場合に設定を行います。不要であれば次の手順に進んでください。

④ 必要に応じて「ランダム発券の最小番号#1」を変更します。

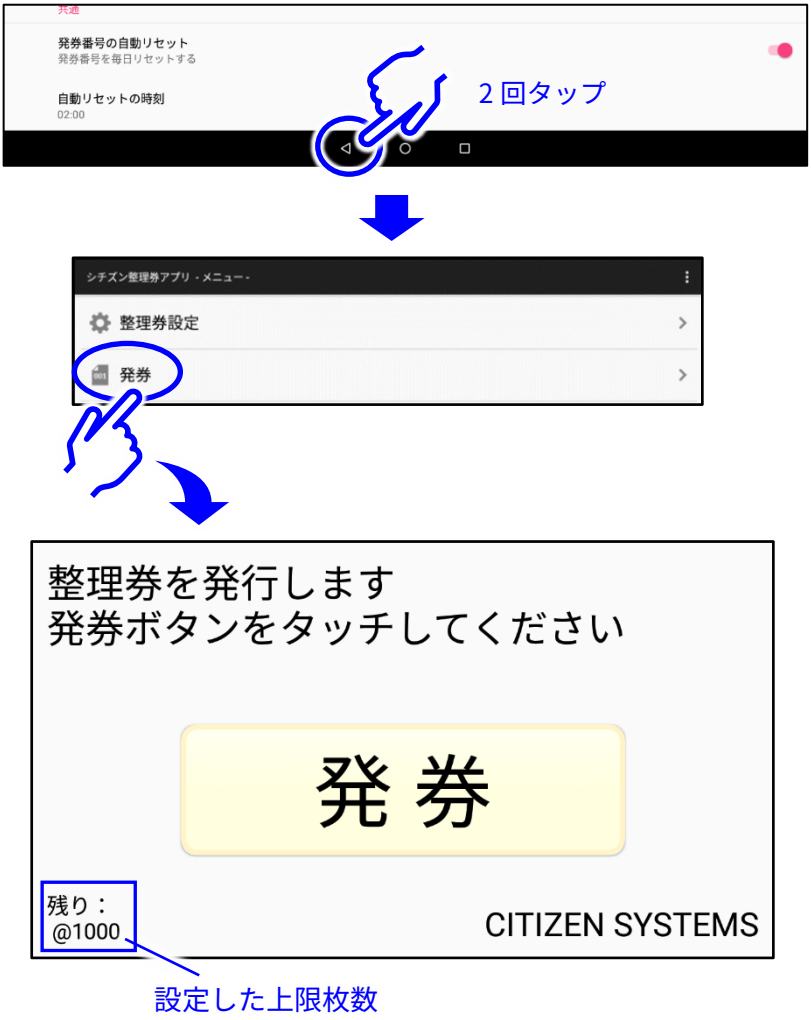


補足：初期設定では、「ランダム発券の最小番号#1」を起点に 100 枚まで発券できます。100 枚を超えて発券する場合は次の設定を行ってください。不要な場合は次の手順へ進んでください。

⑤ 必要に応じて「最大発券枚数#1」を変更します。



⑥ バックボタンを 2 回タップしてから「発券」画面を開き、発券数の上限が正しく設定されていることを確認します。



補足：「ランダム発券の最小番号#1」を起点に、上限枚数分の範囲で発券されます。
例えば、最小番号が 101、上限枚数が 1000 の場合は 101～1100 が発券範囲です。

シチズン・システムズ株式会社
〒188-8511　東京都西東京市田無町6-1-12
TEL. (042) 468-4993　FAX. (042) 468-4687
https://www.citizen-systems.co.jp/printer